

## 条例での位置づけ

多様な主体の協働によるまちづくりの推進の拠点

市民活動の促進のため

### 現状

- ・「市民活動の促進のための拠点」という設置当初の目的に関しては、これまで大きな役割を果たしている
- ・市民活動団体同士の交流は見られるものの、異なる主体間の交流はあまりみられない
- ・若者の利用が増加しているものの、利用者の裾野の広がりは弱い

### 機能強化のコンセプト

「多様なまちづくりの担い手が集い、アイデアを交え、つながりを育む場づくり」  
 「市民活動の促進のための拠点」としての機能は維持しつつ、「多様な主体の協働によるまちづくりの推進の拠点」としての機能強化  
 ⇒多様なまちづくりの担い手が気軽に集い、地域の課題解決やまちの魅力づくりに連携して取り組んでいくための機能の充実を図る

### 機能強化の具体案(ハード)

- 交流スペースの増設
    - ・温かみがあり、多様なまちづくりの担い手が気軽に集える空間の整備
    - \*1階エントランスなどへの交流スペース・オープンスペースの増設(イベントの実施やカフェ・チャレンジショップの出店等フレキシブルな活用が可能な空間の整備)
    - \*5階交流スペースの改修(仮設間仕切りの設置による打ち合わせスペースの提供等1階交流スペースとの差別化を図る)
  - 1階入口への総合案内窓口の設置
    - ・利用者へ館内機能をわかりやすく案内したり、協働をコーディネートするスタッフを配置するためのカウンターを設置
  - 認知度・視認性の向上
    - ・入口上部の外壁に看板を設置
    - ・愛称の設定(増設した交流スペース等の愛称募集)
  - 情報発信・提供機能の強化
    - ・プロジェクター等の設置により、館内イベントや先進事例等の情報発信・提供を強化
- ※レイアウト変更  
 ・上記機能強化策に伴い、事務室、図書スペース、研修室等を移設

### 機能強化の具体案(ソフト)

- 交流スペースの活用と利用促進
  - ・交流スペースを活用した各種ワークショップ・交流会等の企画の実施
  - \*市民活動・企業の社会貢献活動等多様なテーマによりオープンな雰囲気を実施
  - \*企画と連動したカフェ・チャレンジショップの出店による活躍の場や賑わいの創出
  - ・マチノWEEKのような全館を活用したオープンイベントの実施(多彩な取り組みを発信)
  - ・団体による情報発信の場・機会の提供
- 総合案内での利用案内・協働コーディネート
  - ・総合案内におけるサポセンの利用案内や、利用者間のマッチング等によるつながり・連携事業の創出
- 積極的な情報収集・発信による利用者層の拡大
  - ・市民活動、地域活動、企業の社会貢献活動や協働の事例等の情報収集の強化
  - ・地域団体、企業、大学等これまであまり利用されていない層への情報発信や働きかけによる新たな利用者層の呼び込み
- スタッフの人材育成
  - ・市民活動促進や協働推進のための幅広い相談への対応力や、事業の企画力等のさらなる向上

## 市民活動サポートセンター 平成29年度事業方針

### 事業方針

- ・「ささえる」「ひらく」「つながる」を軸に市民活動の促進及び協働によるまちづくりを推進する事業を実施する
- ・機能強化のハード整備による新たな空間の活用を見据えた事業をモデル的に実施する

#### ささえる

- ◆多岐にわたる市民活動がさらに活発になるよう、市民活動団体等の取り組みを支援する。
- ・活動に必要な施設・設備の提供
- ・多様な主体が常時相談できる環境の整備、専門的な助言
- ・担い手の育成、団体の組織基盤強化に資する研修プログラムの提供
- ・市民活動や協働によるまちづくりに関する情報の収集・発信の充実

#### ひらく

- ◆協働によるまちづくりの担い手の拠点(プラットフォーム)としての機能を強化する。
- ◆オープンスペースの機能充実と、関係機関や市民活動団体等と連携した事業展開により、新たな担い手の参画につなげる。
- ◆多様な主体に開かれた施設イメージの定着を図る。

#### つながる

- ◆多様な主体が集い、交流できる場を積極的に提供することで、マッチングの効果を発現させ、協働の創出につなげていく。
- ◆地域における様々な活動の促進や協働を推進するため、地域機関(各区役所、市民センター等)との関係強化を図りネットワークを構築する。

